大まかな 手ぬぐい制作の工程

制作・作画 アシストオン

① 綿100% 真っ白

② 型

・型はどうやって作るの？
実ホで紙に出力する。
その紙を元に版を掘る。

③ 型を置く

・防染のりとは？？
染めたくない部分に付けるもの。
海松の海藻を使ってる。
ものによって違うが、
海藻には布を定着させる効果があり、塗ったところは染まらない。

④ 防染のりをヘラで うすくのばす。
全体に均一に・・・

⑤ 1つの面が塗り終ったら 折り返して、また型を置いて 防染のりを塗る。
ジャバラに折りたたむので、裏側にも防染のりを付けることができる！
折りたたむだけで、

⑥ 全て防染のりが塗り終る。

⑦ お灰汁ず(?)がしきつめられた床の上に置き、表裏にまんべんなく、お灰汁ずを付ける。

職人さんいわく、
防染のりを塗り終った後に手ぬぐいを物動させる時がすごく神経を使うらしい。
せっかく塗った防染のりがずれてしまって、染め具合に影響が出ないように…

⑧ 2色以上染める場合、挿げ替える部分に、のりと同素材のもの(のりより粘土質)で土手を作る。※今回は2色染める。

土手の中に流してるので、外側は染まらない。

⑨ 先に土手の中を染める。(土手の中に染料を流しこむ。)(1色目)

⑩ 次に周りを染める。(2色目)

台自体にバキューム機能がありました…。

⑪ 2色目を染め終ったら、下からバキュームで吸引し、染料を中まで染みこませる。

⑫ 裏返し、もう一度⑧～⑪を行う。

⑬ 水で洗う。機械を使って

⑭ 脱水す(遠心力を使って脱水)

⑮ 干す。

⑯ 乾かしたらグルグル巻きとってピシッとさせる。(シワをのばす)

⑰ シワをのばしたら、きれいに折りたたむ。

⑱ あとは1枚ずつ切って完成！

*転載・複製を禁ず